

「エレベーター閉じ込め時の救出訓練」実施の経緯と報告

＜経緯＞

- 副会長／榎本さんから2022年11月の役員会でエレベーターの地震時閉じ込められた際に外から扉を開くことが出来る訓練を実施したいとの提案。
- 12月に副会長／榎本さんが「エレベーター閉じ込め対応訓練」の具体的な実施を港区の防災課長と相談。
- 2023年1月初旬に榎本副会長から「エレベーター閉じ込め対応訓練の実施」について、訓練を3/11で行う事で4号棟を管理するスターツアメニティー（株）を了解を得たとの連絡。
- 1/18（水）に港区防災課・東芝エレベーター(株)・当自治会の3者で訓練実施に向けて具体的な打ち合わせを行い、以下の事項を決定した。
 - ①3月11日（土）10:00～12:00に救出作業の教育、訓練を行う。
 - ②場所は4号棟32階のミーティングルームと32階のエレベーターフロア。
 - ③実施時間は
 - 10:00～11:00 講義 （32階ミーティングルーム）
 - 11:00～12:00 実地訓練（32階エレベーターホールなど）
 - ④使用するエレベーターは4号棟1号機
 - ⑤訓練の主催者は港区防災課
- 2/21（火）に港区防災課、スターツアメニティー(株)及び当自治会と「エレベーター救出訓練」の打合せ。
港区が告知チラシと訓練内容の改訂版、参加者募集&エレベーター休止のお知らせ案を提示。当会からは参加者募集チラシを提示し、検討。
港区が告知チラシとエレベーター休止のお知らせを作成してスターツアメニティーに届けてエレベーターに掲示することに。
当自治会は参加者募集のチラシを作成し、全戸投函することに。

以上

「エレベーター閉じ込め時の救出訓練」の実施報告

☆4号棟住民の参加者は12名（男性：4 女性：8）で20代から70代まで幅広かった。その他、当会役員が5名。防災センターから1名。港区防災課から4名。港区台場担当1名。東芝から4名 NHK取材3名。その他5名ほど。

10:00過ぎから33階ミーティングルームで

1. 港区防災課・井上係長から本日の訓練の趣旨説明
2. 東芝エレベーター(株)の太田所長から訓練の大まかな内容説明
3. 東芝エレベーター(株)の渡邊係員から参加者に配布の「閉じ込め時の救出手引き」を参照して個々の説明

その後、

4. 5名ずつ順番に屋上階の機械室行き、エレベーターの制御盤にある主電源スイッチの場所を確認し、切（OFF）にする
5. 参加者は32階のエレベーターホールに降りて、1号機を使用してドアの解錠キーを使ってドアの開け方の指導を受ける
6. 参加者が個々に解錠キーを使って、ドアの開け方を実地体験
7. 5人ほどのグループに分かれて1号機で地震時運転の実体験
8. 33階のミーティングルームに戻り、参加者からの質疑応答
以上で訓練は終了。

☆訓練の様子はNHKが取材し、当日のNHK「ニュース8:45」で放送された。また後日、NHKのHPで担当ディレクターの取材記事が掲載された。

☆これまで大地震や事故などでエレベーター内に人が閉じ込められた際はエレベーター会社の保守要員が到着するまで救出することは出来なかった。しかし、今回の訓練でエレベーターのドアを外から開けられることを知った。但し、エレベーターの機械室に入ったりドア解除キーの保管などで防災センターの協力が不可欠である。幸い、今回の訓練で防災センターの方にも参加いただき、ドア解除キーの保管と閉じ込め時の協力もお願いした。

☆今回の訓練はエレベーター閉じ込めに問題について榎本副会長の長年の知見が生かされ、港区に対する働き掛けもあり、大変有意義だった。

以上